

授業科目	ボランティア概論				単位	1		
履修	選択	関連資格			ナンバリング	TO10604J		
開講年次	1年	開講時期	前期	該当DP	DP1-1			
担当教員	今村 浩司							
授業概要	<p>【実務家教員担当科目】</p> <p>現代社会においては、「ボランティア」という言葉が多岐に渡って使用されています。「ボランティア」は多種多様の活動があり、そしてその組織も多く存在します。</p> <p>本講義では、ボランティアの理論や実践について学びを深めるとともに、自らボランティアに参加したりすることにより、自分自身の社会的有効性や存在価値を見出し、豊かな人生を目指すことを目的としています。</p> <p>講義内容は、実務家教員(ボランティアや地域貢献活動の実践経験を有する)が、可能な限りよりリアルに具体的ボランティアや地域貢献活動の現状を、興味深く展開させていきます。</p> <p>その後社会の中で実際にボランティアや地域貢献活動を実践している5名の方をゲストスピーカー(外部講師)として招聘し、さまざまな角度からのリアリティーにあふれる具体的な講義を展開し、その現状と魅力を伝えていきます。</p>							
学生が達成すべき行動目標	<p>1、ボランティア活動や地域貢献活動等の理念、役割を理解し説明できる。</p> <p>2、社会の中でのボランティア活動や、地域貢献活動等の関係性を理解し説明できる。</p> <p>3、社会の中での多様な課題を理解し、地域社会に貢献する必要性を説明できる。</p>							
達成度評価								
評価と評価割合／ 評価方法	試験	小テスト	レポート	発表(口頭、プレゼンテーション)	レポート外の提出物	その他	合計	備考
総合評価割合	0	0	50	0	40	10	100	
知識・理解 (DP1-1)			30		20		50	
知識・理解 (DP1-2)								
知識・理解 (DP1-3)								
知識・理解 (DP1-4)								
思考・判断 (DP2-1)								
思考・判断 (DP2-2)								
関心・意欲 (DP3-1)			20		20	10	50	
関心・意欲 (DP3-2)								
態度 (DP4-1)								
態度 (DP4-2)								
態度 (DP4-3)								
技能・表現 (DP5-1)								
技能・表現 (DP5-2)								
技能・表現 (DP5-3)								
具体的な達成の目安								
理想的レベル				標準的なレベル				
1、ボランティア活動や地域貢献活動等の理念、役割を理解したうえで説明できる。 2、社会の中でのボランティア活動や、地域貢献活動等の関係性を理解したうえで説明できる。 3、社会の中での多様な課題を理解したうえで、地域社会に貢献する必要性を説明できる。				1、ボランティア活動や地域貢献活動等の理念、役割を説明できる。 2、社会の中でのボランティア活動や、地域貢献活動等の関係性を説明できる。 3、社会の中での多様な課題と、地域社会に貢献する必要性を説明できる。				
授業計画								
進行	テーマ・講義内容			授業の運営方法	学習課題(予習・復習)		予習・復	

				習時間 (分)
1	「ボランティア概論とは」 ボランティアの活動の理念、役割、基本的性格、定義について解説する。また、履修についてのルールや、レポート、評価方法についても説明する。	講義	新聞や情報誌等で、ボランティアや社会貢献活動に関する記事等を確認しておく。	30
2	「ボランティアの歴史と現在～現状と課題～」 ボランティアについての歴史的背景を解説し、現状と課題について解説する。また社会貢献活動についても解説する。	講義	新聞や情報誌等で、ボランティアや社会貢献活動に関する記事等を確認しておく。	30
3	「北九州市のボランティア事情」 私たちの街、北九州におけるさまざまなボランティアや地域貢献活動についての、現在過去未来を解説する。(外部講師)	講義	予習として、事前に配布する用紙に、「北九州市のボランティアの事情」についてまとめる。 復習として、講義を受けて自分の感じたことをまとめる。 (次講に提出)	30
4	「社会福祉領域におけるボランティア」 障害者や高齢者、ホームレスや刑務所出所者などの、社会的支援の必要な方々に対するボランティアや地域貢献活動を解説する。(外部講師)	講義	予習として、事前に配布する用紙に、「社会福祉領域におけるボランティア」についてまとめる。 復習として、講義を受けて自分の感じたことをまとめる。 (次講に提出)	30
5	「災害時におけるボランティア」 さまざまな自然災害の特徴と、それらの災害を対象としたボランティアに求められる知識や技術を解説する。(外部講師)	講義	予習として、事前に配布する用紙に、「災害時におけるボランティア」についてまとめる。 復習として、講義を受けて自分の感じたことをまとめる。 (次講に提出)	30
6	「社会貢献や地域連携におけるボランティア」 NPOやNGOの概念や現状を理解し、その活動内容や役割、地域社会から求められているニーズを解説する。(外部講師)	講義	予習として、事前に配布する用紙に、「社会貢献や地域連携におけるボランティア」についてまとめる。 復習として、講義を受けて自分の感じたことをまとめる。 (次講に提出)	30
7	「国際ボランティア」 海外のボランティアの事情や、海外で活動するボランティアを紹介し、その現状や課題を解説する。(外部講師)	講義	予習として、事前に配布する用紙に、「国際ボランティア」についてまとめる。 復習として、講義を受けて自分の感じたことをまとめる。 (次講に提出)	30
8	「人間総合科学としてのボランティアや地域貢献活動」 問題意識を持って周囲の環境を見直していき、地域の課題に気づくことによって、自分自身に何ができるかを解説する。	講義	本講義を受講して、これから自分自身に何ができるかを考えておく。	30
9				
10				

11				
12				
13				
14				
15				
16				
17				
18				
19				
20				
21				
22				
23				
24				
25				
26				
27				
28				
29				
30				
理解に必要な予備知識や技能	新聞やテレビ、情報誌等々を通して、社会情勢や地域の課題について関心を持つように心がけてください。			
テキスト	特に設定はしません。毎回レジュメや関連資料を配布します。			
参考図書・教材／データベース・雑誌等の紹介	講義中に必要に応じて紹介します。 また、本学の図書館には、さまざまな「ボランティア」「社会貢献」「地域貢献」「NPO」「NGO」等に関する本がありますので、最低3冊は読むように心がけてください。			

授業以外の学習方法・受講生へのメッセージ	大学や地域の身近なところで活動している団体についての、情報提供を行います。ウェブサイト等で調べてください。 また、活動している団体の研修会や活動についても情報提供を行いますので、可能ならば参加してみてください。
達成度評価に関するコメント	評価については、レポートを課します。また、外部講師の講演についてのそれぞれのレポートも評価の対象とします。その他については、グループ検討の積極性や関心度を含む、講義貢献度も評価の対象とします。